

還る小屋 / 巡る小屋

第15回空間デザイン・コンペティション



カラマツ林にひっそりとあった山小屋。

ガラス質の基礎を残して、その他は朽ちてしまっています。
植林で出来た自然は人の手を加えなければ持続できないように、建築にも同じような事がいえると思います。

建物を構成していた土や木は朽ちて、土に還りましたが、ガラス質はその場に美しく佇み、巡ります。

朽ちゆくものと朽ちゆかないものが共存したロッジ。

都市の建築とは異なる建築のあり方を提案します。